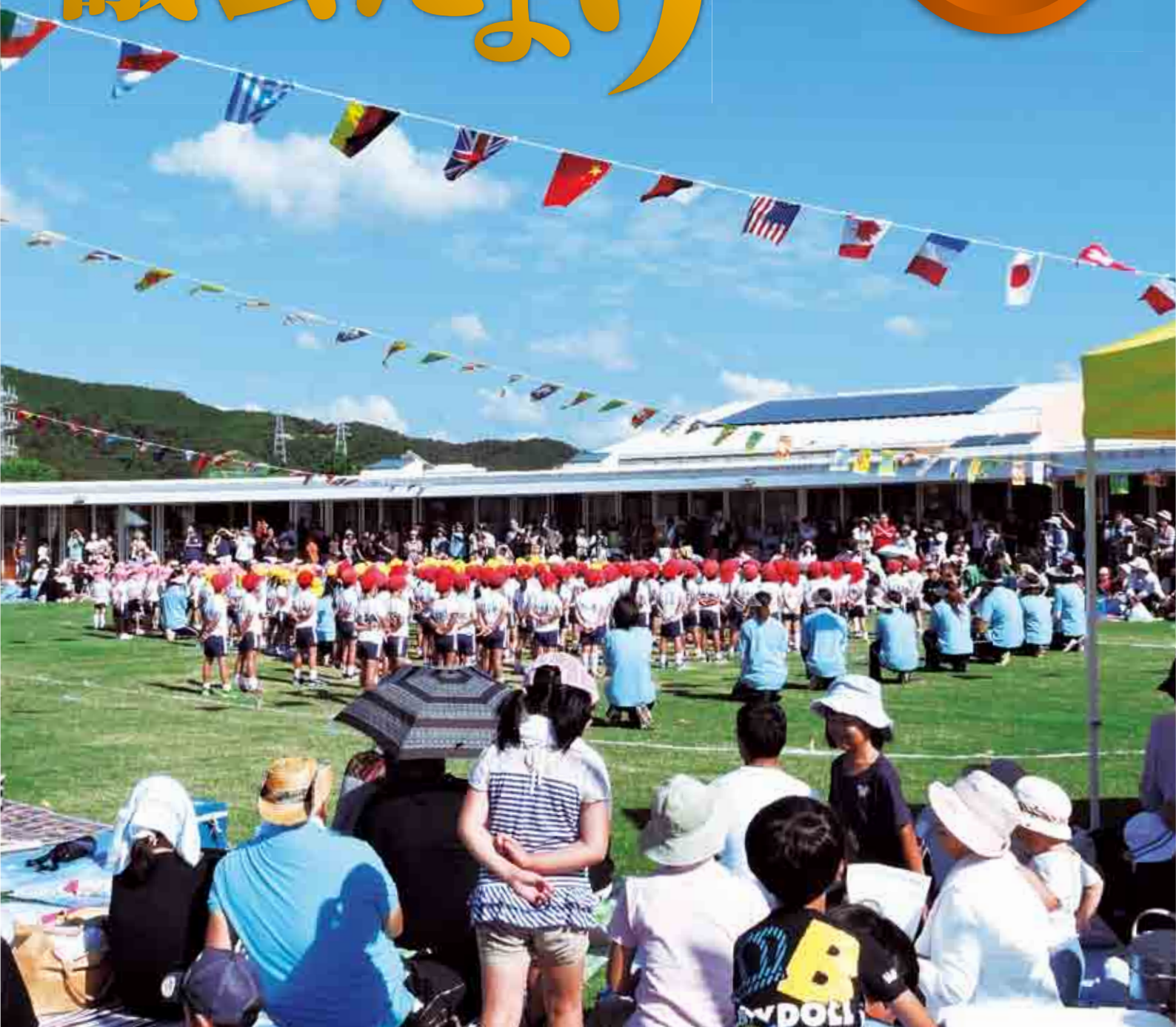


いなみ町

# 議会だより

No.63  
2014.10



## 第3回定例会 表紙写真:いなみ こども園運動会

議案審議	P2~P4
一般質問7名が登壇	P5~P11
委員会報告	P12~P13
文化協会(文芸部)	P14

## 平成26年第3回定例会（9月議会）

9月10日に開会し、9月19日に閉会しました。  
上程議案24件（専決処分1件、条例4件、予算5件、決算認定9件、その他3件、意見書1件）を慎重に審議の上、決算認定を除く全議案を可決しました。

### 議案審議

3回目の一般会計補正予算が組まれました。1億7,910万4千円が追加されて、総額51億8,503万3千円に。

#### 質問

宇杉ヶ丘団地の擁壁の亀裂、調査対策検討業務委託料230万円とありますが、広い面積ではないが高額です。調査結果が出て完了するのはいつ頃になりますか。

#### 答弁（総務課長）

かなり日数をかけ大雨が降ったらどうなるかと、亀裂の中のほうも調査をしました。亀裂が大きくなったりはしていません。若干費用は高いが精度の高い調査方法を検討します。

今年度は調査委託で来年度以降での対応となります。

#### 質問

上道改良住宅建替用地測量設計委託料、1,500万円の概要をお聞きします。

#### 答弁（建設課長）

場所は、あけぼの保育園の北側です。また、建て替えに伴う道路、水道管、排水といった基盤設計の委託料です。



上道改良住宅

#### 質問

大型作業場修繕協力金130万1千円、町有物件災害共済金130万円については、台風により賃貸借契約を締結している施設が破損したため、修繕協力費と保険の受け入れということでしたが、契約の相手方に修繕協力金の負担を求めているのではなく今後、賃貸契約内容の見直しと、太陽光パネルの設備の件に必要があるのではないのでしょうか。

#### 答弁（総務課長）

今後、賃貸契約内容及び太陽光パネルの設置の確認事務を進め契約の相手方と協議していきます。

#### 質問

子育て世帯臨時

特別給付金、国庫補助金の今回80万円の増額を行った根拠等について、どのような世帯把握をされているのか。

#### 答弁（住民福祉課長）

約830世帯の予算計上をしております。ご承知のように、6月末から住民の皆様へ申請のご案内をさせていただいた。今現在においては、98%強の申請率です。

一旦締め切った状況の中で、100%の申請が来たというようなことを試算しました。その結果、80万円を補正しました。

#### 質問

印南防災センター建設設計委託料の600万円についてお聞きします。

#### 答弁（総務課長）

印南の上野山の公園

の土地を活用しまして、そこに建設を予定しています。

目的は以前より印南地域に備蓄食料、避難する場所がなく、あくまでも避難場所としての施設で、鉄骨の2階建てを想定しています。備蓄食料を一部置き、畳の間、トイレも設置します。

**質問**

本郷区の300万円避難道路整備測量委託料の詳細をお聞きします。

**答弁（建設課長）**

区間約160m、幅員が4mという道路を予定しています。印南西ノ地線のさらにその上には、東光寺光川線がありまして、それを使って高台に避難するということですので、文字通り津波の避難道として効果があるものと考え

えています。

**質問**

小児個別接種委託料小児が138万円、高齢者特別接種が323万円ですが、今年度10月から初めて始まるということですが、今後、ずっと継続されますか。

**答弁（住民福祉課長）**

26年10月1日から、定期接種として、国において実施要領が見直されました。

小児個別接種委託料については、水ぼうそうに対しての予防接種です。

基本的に、1歳から3歳までの方を対象としております。しかしながら、平成26年度に限り、3歳以上5歳未満の方に対しても、接種を行います。把握している該当者については、現在270名強ということ、接種率につ

いては、約50%をめぐりに、今回予算計上させていただきました。

高齢者個別接種、肺炎球菌これにつきましても、今回10月1日から新たに追加された部分です。肺炎球菌接種というようなことで、

高齢者に対しての死亡率が高い肺炎を予防するため、定期接種で行うという内容です。

65歳、70歳、75歳、80歳、5歳刻みの節目接種として実施するものです。該当者、約650名を把握しています。

**質問**

農業振興費の部分で「経営体育成支援事業」として676万9千円、もう一点は「パイプハウスの強化支援」として215万6千円の予算がそれぞれ計上されていますが、内容についての説明を求めます。

**答弁（産業課長）**

「経営体育成支援事業」の補助金としての676万9千円は、今年2月13日、14日の大雪被害があり、そのための県からの補助金です。

「パイプハウスの強化支援」の215万円6千円は町単独の6分の1の補助金280万2千円と今年度から計画された県の事業と町単独で5%の61万円1千円の合計341円で、平成26年度の当初予算の125万7千円を引いた残りとして215万6千円です。

**質問**

防災諸費の中で橋の耐震工事のための設計委託料として630万円が、計上されています。この橋は印南地区の畑ノ橋ですが、どの様

な耐震補強をするのですか。

**答弁（建設課長）**

畑ノ橋は国道42号線と立体交差し、国から対策依頼が寄せられています。

建築は、平成元年、長さは25・8m車道が5・5mの橋です。どのような耐震工事が良いのかということも今回の予算計上で調べます。

国民健康保険条例の一部を改正する議案が提出され可決しました。

**産科医療保険制度の見直しに関わって**

**【主な改正内容】**

産科医療保険制度の掛け金を3万円から1万6千円に引き下げ、出産一時金を39万円から40万4千円。

# 議案審議

現行制度の出産育児一時金の42万円は維持されます。

## その他3件

○平成25年度繰越社会資本整備総合交付金住宅地区改良事業等上道改良住宅建替第2期建築工事)

(契約金額)

74,660,400円

(契約の相手方)

株式会社千代徳組

○平成26年度切目川簡易水道統合事業古井配水池施設整備工事

(契約金額)

101,498,400円

(契約の相手方)

株式会社第一テック印南支店

○印南町過疎地域自立促進計画について

決算認定は、議長と議会代表監査委員を除く10名の決算審査特別委員会を設置し、付託しました。

・委員長 玉置克彦  
・副委員長 藤薮利広

請願書1件の提出があり、総務産建常任委員会に付託しました。

○「新庁舎建設にあたって広く住民に説明責任を求める請願書」は継続審査中です。



## 意見書を提出しました

### 手話言語法(仮称)制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手指や表情に変えて表現していると思われがちであるが、本来は独自の語彙や文法体系を持つている言語である。「音声が届かない」「音声で話すことができない」など聴覚障害にとつて、日常生活を営む上で、手話は大切な情報獲得とコミュニケーションの手段である。

平成18年12月に採択された国連の障害者権利条約には「手話は言語」であることが明記されている。

また、障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、平成23年8月に改正された「障害者基本法」の第3条では、「全ての障害者は、可能な限り、言語(手話を含む)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

さらに、同法第22条では、国

地方公共団体に対して情報補償施策を義務付けており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に示し、日常生活、職場、教育の場で手話を使った情報の提供やコミュニケーションが保障され、社会に自由参加できる環境整備を図ることが求められている。

よつて、国においては、上記の内容を盛り込んだ「手話言語法(仮称)」を早期に制定するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年9月19日

和歌山県印南町議会

#### 【提出先】

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣



## 土砂災害防止について

**質問** 土砂災害は全国各地で大きな傷跡を残しました。平成22年配布の災害予測地図（ハザードマップ）は、現地と合致しない部分があります。見直しの必要性は？

**答弁** 総務課長

県の調査結果を基に作成しなければならず、状況を見ながら「明日は我が身」と思い、今一度、防災体制等の総点検、再チェックを行う計画です。

**質問** 急傾斜地崩壊防止対策は順番待ちで、なかなか取り扱ってもらえないと聞きますが？

**答弁** 建設課長

公共、県単事業があるが、現在3地区で公共事業を、県単事業は22地区から要望があります。1年1地区、本年度においては350万円の事業となっており、引き続き強く県当局への要望活動に努めます。



土砂災害（櫻川地内）

## いよいよ国体・本番に向けて

**質問** 8月24日のリハール大会の成果、反省点と準備状態は？

**答弁** 教育課長

全般的な流れが把握できましたが、今後の課題としては、日程が重なることもあり、会場やボランティア等の確保等に万全を期したい。

**再質問** 具体的なボランティア募集計画は？

**答弁** 教育課長

自転車1日・ゴルフ3日、それぞれの競技のうち9月27日が重なること、またゴルフは2日間が平日となり、しかも2会場であるため、述べ300名程度が必要と見込んでいます。人員配置の見直しも含め、広く住民に募集をかけた。

## 森林管理について

**質問** 人口減少、高齢化が深刻になった今、地籍調査で山林境界確認が難しくなってきたが、行政の対応は？

**答弁** 建設課長

高齢化が進む中対応が難しく、今後、事例研究に努めて参ります。

**再質問** 町外の方が、諸事情により、町に寄付したい申し入れがある場合、どう対応されるか。

**答弁** 総務課長

その物件の場所や維持管理費、町にとつての利益等総合的に判断し対応していきたい。

**再質問** 鳥獣被害の元凶は森林管理の不行き届きが最大の原因であり、昨今の現況からして管理能力の低下を招いているが、行政としての対応は？

**答弁** 町長

確かに最近の豪雨に対する森林の機能低下もあり、森林の重要性は痛感しています。国、県等に支援を働きかけて行きます。

## 他人事でない土砂災害

藤本 良昭 議員





# 一般質問

## 土砂災害から住民をどのように守るか

榎本 一平 議員

日本では毎年1000件を超す土砂災害が発生しています。

1967年から2011年にかけて、自然災害行方不明者のうち約4割を占めるのが土砂災害の犠牲者となっています。

全国には対策が必要な土砂災害危険箇所は約52万箇所、警戒区域に指定されているのは約35万箇所とされ、32都道府県が「土砂災害防止法」に基づく基礎調査をいまだに終えていません。

**質問1** 近年の気候変化と土砂災害問題について、行政の考え、問題

意識は？

**答弁** 総務課長

気候変動、地球温暖化等が雨量の増加、ゲリラ豪雨を引き起こしている要因の一つであると言われています。

住民の命を守る立場からは、行政と住民が共通認識し、協働して土砂災害対策に取り組む必要がある、同時に防災体制の総点検を行い、現実的な避難指示・行動の情報発信を踏まえた再チェックを行ってまいります。

**質問2** 「町では土砂災害防止法」に基づく県の基本調査はどのようなになっていますか。

**答弁** 建設課長

町内に土砂災害危険

箇所は645箇所あり、平成19年から21年にかけて、印南、印南原、古屋の各地区の一部で実施されています。

来年4月から始まる「子供子育て新制度」を問う

**質問** 来年4月から保育、幼稚園、学童保育など子育て支援の関わる制度が根幹から転換する「子供子育て支援制度」の実施が予定されています。

この新制度は、保護者は、こども園、幼稚園などを利用する時は、市町村に申請を行い認定してもらう必要があります。

認定には1〜3まであります。保護者は市



町村に利用申請を行い認定を受け、市町村は利用の調整やあつせんなど保育、教育の給付を受けられるようになります。

制度としては介護保険制度の仕組みとそっくりです。

認定こども園で対応している町ではどのようなになりますか。園、こども、保護者との関係を中心に説明を求めます。

**答弁** 教育課長

園の施設、運営基準では保育室や遊戯室、学級編成と人員配置基

準などは十分対応できると考えます。

園児は235名に対し、教諭は27名で運営され、充分な対応になっています。

保護者は新制度により、こども園の利用にあたり支給認定の申請が必要で認定を受ける事になります。保育が必要となる入園児は充分対応でき、大きな変化はないと考えます。



**質問** コーナン付近は、道路の冠水がよく発生しますが、幹線道路であるため、対策が急がれると思います。お考えをお聞きます。

**答弁** 建設課長

道路面を上げる等の改修は、道路に面した民家、商業施設や交差する道路との取り合せ等で難しいと考えます。

**質問** 付近には農業用水路がありますが、宅地化が進み、生活排水も流れています。

この水路の土処理を町で出来ませんか。

**答弁** 建設課長

災害対策として実行組合を支援する方法を今後検討します。



コーナン付近

**質問** ポンプは現在4基ありますが、これだけに頼らず、消防ポンプを使う方法も考えてみてはどうでしょうか。

**答弁** 総務課長

新規購入したポンプの運用面で、人員的に自主防災会や消防団にお願いするか今後詰めていきたい。

また消防ポンプについても、印南だけでなく全町的に考える必要があります。

## 全国学力学習状況調査について

**質問** 公表に至った経緯と公表内容について。

**答弁** 教育長

地域の方々に子どもたちの学習状況の成果と課題を知っていただくことにより、一層の支援をいただけるものと思っています。

平均正答率や正答数等の数値については、一覽での公表は行いません。

**再質問** いつごろ公表をされるのですか。

**答弁** 教育長

10月に入ってからになります。

**質問** 今回のテストと前回を比較して、前回より

も結果が思わしくなかった場合の対策についてお聞きます。

**答弁** 教育長

学習調査の中で、印南町の課題として、家庭学習の時間は全国平均より短く、スマホや携帯、ゲームの時間が多い傾向にあることが分かりました。これらを改善する必要があります。

**質問** 個人の結果が特定される場合は公表しない等、個人情報保護の必要があると思いますがどうでしょうか。

**答弁** 町長

優秀な子どもが印南町から育っていくことは、今後の印南町のために大変重要なことです。教育を切り離してはいけないと思っています。

**答弁** 教育長  
児童、生徒が5人以上の場合は6人以上のような公表はしないように考えています。



## 内水対策について

藤藪 利広 議員



# 一般質問

## 新庁舎建設について

杉谷 考祥 議員

### 庁舎建設の担当課の 取り組みの状況は

#### 質問

4月の機構改革により、総務課から企画政策課の方に担当課が変わっていますが、現在の担当課であります企画政策課の新庁舎建設に向けての取り組みについて、具体的に説明してください。

#### 答弁 企画政策課長

本建設計画は町内有機者17名からなる印南町役場庁舎建設検討委員会員の提言書に基づいて、町長が判断し進められてきました。

平成24年11月30日に町への提言書（災害復興の拠点として、高台への移転）が提出されています。

4月の人事異動に伴い職員で構成している庁舎建設プロジェクト委員会を再構成しました。

4月から現在まで計4回の委員会を開催しています。

現在、建設基本設計業務を9月中をめどに完了する予定です。

なお、町民への情報提供として広報いなみ8月号・9月号に新庁舎移

転の考え方や新築移転スケジュール、設計業者情報、これまでの経緯について連載し周知を図っております。

公聴会、これにつきましては来年の1月頃をめどに事業説明会を実施するという事で、情報提供や町民へのアナウンスというのを進めていきたいと考えています。

#### 質問

同僚議員の後援会より発行され、地方紙に折り込みされた庁舎建設に関する文章の内容について、執行部の見解は。

#### 答弁 企画政策課長

まず発行が岡本庄三後援会となっております。

これは和歌山県選挙管理委員会に正規に届けられている政治団体が発



行したものと認識しております。

執行部の考え、捉え方ですが、この記事の内容が、根拠も資料も含めた中での内容なのか、今後確認作業を進めていきたいと考えています。

財源の内訳は緊急防災減災事業の活用により10億を起債で8億を基金の活用を考えています。

緊防債は7割の交付税処置があり、基金の額と合わせ、実質負担は11億円という概算の数字です。

#### 質問

新庁舎建設に係る予算確保等、財政計画についてお聞きします。

#### 答弁 企画政策課長

全事業費18億円程度に費用を抑えたいと考えています。



新庁舎建設予定地







## 質問

平成25年度で浸水被害対策として、消防ポンプ6機分に相当するポンプユニット4機と防災センター配備2箇所の発電機を使用して内水排水に備える体制を整備されてきました。災害発生の季節を迎え初めての排水対策となり、様々な問題が出てきました。今後の対策に検討して頂きたい質問致します。

ポンプが4機あっても発電機は2機しかないのが、最大でも2箇所しか配置できません。更に必要になる時は電源を町内建設事業者から借り受ける計画と聞きますが、3ヶ所以上の要請が来た時どのようにしますか。

## 答弁 総務課長

今回、台風気象情報を基に印南地区2箇所

に事前配備し、職員が操作対応しましたが、一定の成果が得られたと確信しています。

しかし、3箇所以上の対応は困難と判断します。対策としては、ポンプのリースの活用がありますが、素早く事前に対応できるか、また、配置指揮、捜査担当者等人材配備を含め種々検討課題があります。

## 質問

内水被害の発生する可能性がある地域を把握できていますか。



浸水被害(島田地内)

## 答弁 総務課長

地域確認ができていますが、最近のゲリラ豪雨は地域ごとに雨量差が激しく、十分であるかどうか、今後、内水対応だけでなく防災対策の一環として各自主防災組織等と協議を重ねる機会を持つていきたい。

排水ポンプ4機については平成25年度に購入したもので、全てに配備するのは困難ですが、消防ポンプも今まで以上に集結することもできると考えている。

## 質問

島田区内で内水被害地区は、3地区ありますが、これら3地区については、毎年どこかが被害にあっています。この被害発生は、切目大橋西側の打越堤(砂防堤)がいつ切れるかが左右し

ますので、緊急性を要します。県とも協議しているが解決策はありませんが、配備の判断はどのようににされますか？

## 答弁 総務課長

ポンプ配備は、常時設置できれば一番良いが、現在はそのに至っていません。今回使ってみて課題が見えてきた状態です。今後その課題を検証し、対応していきたい。

## 質問

事前配備の2箇所について、計画どおり対応できたのか、課題があったのか伺います。

## 答弁 総務課長

町職員を中心に操作対応し、配置や運用面は計画通りできました。しかし、町職員は他の災害や状況把握にも当たらないので、今後は消防団、自主防災組織、水防団等と協議をする必要があります。

また、200V発電機とポンプについては、配備態勢について検討していきたい。

# 町内内水排水対策について

村上 誠八 議員





# 一般質問

## 県営射撃場について

井上 孝夫 議員

**質問** 射撃場の建設は、町の活性化につながるとの意向であり、町として今一度受け入れ体制の意志を県に対し表明する時期ではないですか。

**答弁** 町長 射撃場の建設は、町が開始しました。次にトンネル本体の掘削は、10月の初旬からの予定です。おどろ谷池の放流施設の工事は、9月8日に施工済みです。

当すると判断しましたが、今後は、内容等を精査して対応していきます。

**答弁** 町長

印南原区の意向も受け、町の負担の伴わない範囲で建設を検討して頂けないかとの意向を伝えていきます。県より財政面も含め回答を聞き、総合的に検討を行い対応していきます。

**答弁** 総務課長

概ね10年をもって事業終了の予定です。

**質問** この事業に関しての用地買収金額は約3,200万円ですが、地方自治法では予定価格は700万円以上の売払いは議決案件となりますが、この件は議決案件として上程されていない理由は。

**質問** 計画の搬入土量は60万㎡だが、確定済みの搬入土量は計画の約半分であり、今後の搬入土量の確保が不透明であり計画自体に問題は無いのか。

**答弁** 総務課長

今後、郡内の首長に印南町への協力を呼びかけていきます。今の段階では、土砂の確保が一番と考えています。

### 印南防災広場整備計画について

**質問** 進捗状況及び事業の終了について。

**答弁** 建設課長

1事業が複数の筆数であっても1件（個別）の契約とみなす判例があり、今回はこれに該

### 新庁舎建設基本計画について

**質問** 新庁舎建設基本計画の敷地面積の詳細

及び将来の敷地利用計画をお聞きます。

**答弁** 企画政策課長

敷地面積は8,893㎡です。計画では、庁舎、町長公用車、消防指令庫等の車庫及び倉庫、来庁者の駐車場、公用車駐車場、議員及び職員駐車場を計画しています。

**質問** ユニバーサルデザイン観点から、来庁者の駐車場に、「思いやり駐車場」設置の考えをお聞きます。

【思いやり駐車場】障害のある方や要介護認定を受けた高齢者、妊産婦、乳幼児を連れた方など移動に配慮が必要な方に利用して頂く駐車場スペースです。



**答弁** 企画政策課長

基本設計、実施設計の段階で、今後検討していきます。



## 土地購入費用・面積は？

**質問** 庁舎の土地9,000㎡購入費用が1億5,000万円だと言うことですが、畑地を近傍地で購入した場合にくらべ倍近い金額になり高いと思うが、値下げ交渉をしませんか。

**答弁** 町長 妥当であると思っております。

**質問** 庁舎建設のPT（プロジェクト委員会）会議の中では6,000㎡が目安かなという意見も出ているが、どうして9,000㎡と1.5倍も増えるのか。もつと議論して半分ぐらいに縮小して購入した

方が排水対策にも大きく影響すると思うが考え直しませんか。

**答弁** 町長 計画どおり進めていきたい。

## 庁舎建設に関連する治水・排水対策は？

**質問** 役場が、9,000㎡（二戸建40〜50戸に相当）という周辺でどこよりも多くの面積を取得して庁舎建物を建つのだつたら、その排水の責任から逃れることはできません。

現状でも数年に一度、商店街、印南、地方（あげ）が浸水します。庁舎建設することにより、ますますリスクは高まります。真つ先にそこ

から始まらないと庁舎建設というのは出来ないと思っております。実施設計にかかろうかという段階で、業者委託していても示されないというのは、すごく不安、不信任感を持っています。

庁舎の建設の費用に対策がカウントされることを懸念しているのならば無責任な対応ではありませんか。早急に計画を立てて、町民の安全と財産の確保を優先させた上で庁舎建設とセットで排水対策を早急にやりますか。

**答弁** 町長 神子ノ尾団地全体の排水対策というのは、シミュレーションし、計画していくということでございます。

今回するかしないかと

いうことは、今ここで申し上げることではございません。

## 町民に対しての情報提供・共有について

**質問** 広聴は来年1月頃にするとのことですが、本来は広く住民の意見を酌み取り、それを反映させるのが普通です。

基本設計の段階でないと、実施設計終わってからしても意味がありません。

常識的な話だと思いますが、これが住民目線な

のでしょうか。

**答弁** 企画政策課長 議会、建設検討委員会、区長連絡協議会等団体へのアナウンス、意見、そういったことをイメージして住民への説明会に取り組んでまいります。



## 庁舎建設計画について

岡本 庄三 議員



# 委員会活動報告

## 総務産建常任委員会報告

◎村上 誠八 杉谷 考祥 前田 憲男  
◎藤敷 利広 藤本 良昭 玉置 克彦  
◎委員長 副委員長

### 【開催日】

平成26年7月24日

### 【事業案】

#### 防災広場について

印南SA北側町有地を高速4車線化に伴う残土処理地として受け入れ、整備して防災広場として活用する報告があり、企画政策課・建設課・総務課から事業説明を受けたのち、現地視察を行い、有益性や不利益性、また基本方針や整備計画について検討しました。

**事業者**  
西日本高速道路株式会社（ネクスコ西日本）

### 事業内容

面積10ha、計画土量63万 $m^3$ 、沈砂池46 $m \times 15m$ 、雨水調整池として

オドロ池改修。

第1期工事として、平成28年3月まで森組が高速道路印南トンネル等の工事をし、その排土5万 $m^3$ を町有地に埋め立てます。

**Q** 埋め立ての方法は？

**A** 敷ならし転圧工法で埋め立てます。埋立地には個人地権者（1,400 $m^2$ ）があります。協力同意を得て町が取得し財産として管理します。

**Q** 埋立地の流水対策は？

**A** 高速道路より北に沈砂池を設置し、下

流にあるオドロ池を改修し、災害の防止に努める。

工事の進捗に応じた対策をしながら、工事による被害を発生させないよう努めていく。

またこの防災広場事業については、7月に漁業協同組合において、町とネクスコ西日本とで事業説明を行った。

**Q** 事業内容は？

**A** 埋め立て工事経費はネクスコ西日本が負担する。又、オドロ池改修にかかる工事費や工事で痛めた道路の工事費はネクスコ西日本が責任を持つ協定を結んでいる。

町の経費は個人農地等の購入経費です。

**Q** 緊急時対策としてのスマートインター設置の考えは？

**A** まだ事業計画が始まったところであり、今後の検討課題としたい。

**Q** 印南SAは、年間100万人の利用者がありますが、この広場も産業振興基地として、周辺市町村と提携した活用を考えてはどうでしょうか。

**A** 現時点では、町有地を有効利用するためにまずこの事業を推進し、順次、産業振興としての活用を検討することがベストであると考えます。

### （委員長所見）

埋め立て事業に関して、委員会としては事業推進に異論はありません。

現段階は計画途中にあるので、今後の状況を見ながら検討、支援していきたい。



印南SA北側の残土処理地



# 文教厚生常任委員会報告

◎井上 孝夫  
◎榎本 一平

岡本 庄三  
堀口 晴生

野村 正明  
中島 洋

◎委員長  
◎副委員長

## 「小・中学校の現状と今後について」の調査を行いました。

児童生徒数及び学級数の現在の状況については平成26年5月1日現在、4小学校の状況は、児童生徒数は462名・学級数については27学級です。4中学校については、児童生徒数は223名・学級数については13学級との報告がありました。加えて、小規模校の特性を活かした取り組みについての報告も受けました。

Q 最近では専門（美術・技術・音楽等）の先生は、幾つかの

学校を掛け持ちしている先生が多いと聞きますが、県では採用はしていないのか。

A 採用は行っていますが、学級数に合った先生の配置となっているため、小規模校では、複数の学校を掛け持ちするか、専門教科の仮申請を行って授業を行う対応となります。最近では、2教科の免許をもった先生での対応も行っています。

Q 4小での高学年の交流として連合運動会が行われているが、下級生では、こども園卒園ということもあり交流への課題はないのか。

A 下級生の連携はできていますが、課題があるとするば地域との交流の機会が少ない点ですが、地域の運動会等への参加を大切にして地域との連携を図っています。

Q 現状の4小4中態勢のなかで、授業だけでなくクラブ活動も含め今後、統合を視野に入れての考えは。

A 県教育委員会では平成18年に、小・中学校の適正化規模化に対する指針が取りまとめられています。

この基本を尊重していますが、印南町における小・中学校の適正化規模の議論も必要かと考えています。

## （委員長所見）

少子高齢化の影響による出生率の低迷等により全国の学校で児童生徒数の減少が続き学校の小規模化が進んでいるとこるです。

現在、印南町では、4小4中態勢による学校運営が行われ、小規模校としての特性も活かした取り組みも行われています。

小人数であるがゆえの利点は十分理解はできるが、昨今の出生率の低迷が今後の学校運営に少なからず影響を及ぼすことが懸念されます。将来の望ましい学校教育のあり方については検討をするには統

廃合は避けて通れない問題であると考えます。学校は地域の象徴でもあり、この議論には多くの時間が要することが予測されるため、「印南町における小・中学校の適正規模化に付いて」の議論を始めることが重要と感じます。



# 印南町文化協会【文芸部】大集合!



毎年公民館ロビー展を開催しています

印南町文化協会は、昨年設立四十周年を迎えましたが、昭和四十八年スタート時は、短歌、俳句、川柳、盆栽、写真、囲碁、歩こう会、水墨画、放談会の九つのサークルでした。盆栽は園芸に、放談会は雑学を楽しむ会と名称は変わりましたが、現在は二十のサークルに増え、それぞれ地道な歩みが続いています。そんな中、短歌・俳句・川柳の「文芸部」は設立以来、文化協会の中核を担ってくれました。毎月一回、発行している「通信文芸」は十月で四百四十四号(ヨヨイノヨイ)にもなり、息の長い活動が光っています。文芸は日頃の思いを短い言葉で綴るだけのお金のかからない趣味です。最近、頭の体操としても脚光を浴びています。ペンだけあれば楽しめますので、皆さんもお気軽に試してみませんか。

「秀麗やかつての敵と墓並ぶ」

(俳句選者 里森素子)

「石見神楽羯鼓切目を追うロマン」

(川柳選者 山本智士)

「焼茄子の匂いかすかに残りゐる夜の厨に冷えし茶を飲む」

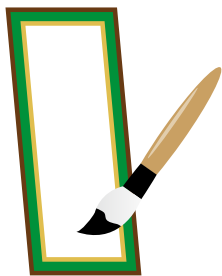
(短歌選者 脇谷郁子)

【サークル長紹介】

俳句…山本 吉彦

川柳…中家 常晴

短歌…塩路美智子



**あとがき**

寒さもしいにっつり、朝夕はめつきり冷気を覚える時節となつてまいりました。

今後、本協会の活動内容を皆様方により多く知っていただくために、読みやすく、わかりやすい「議会だより」づくりに努力していきたいと思っております。

皆様方のご意見ご要望をお寄せくださいますようお願いいたします。また、議会の傍聴にもお気軽にお越しください。

メールアドレス

gikai@town.wakayama-

inami.lg.jp

FAX 42-8055

議会広報特別委員会

委員長 岡本 庄三

副委員長 榎本 一平

委員 中島 洋

藤薮 利広

村上 誠八

前田 憲男